引受保険会社

アクサ生命保険株式会社

redefining / standards

未来円満

保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)

特別勘定（世界分散型３０ＡＬ（５０３））

月次運用レポート

2016年2月

【利用する投資信託の委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社は、米国ステート・ストリート銀行の資産運用部門(SSGA)の東京拠点です。1998年10月1日に業務を開始、投資信託・投資顧問業務を幅広く展開しています。ステート・ストリート銀行は、1792年に米国ボストンに設立された歴史と伝統を有する金融機関であり、卓越した財務内容と高い信用力を有しています。SSGAは、最先端テクノロジーと高度な運用技術を駆使したクオンツ運用に定評があり、特にインデックス運用では世界有数の資産運用会社として評価されています。

- アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- 当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしていますので、合計等と合致しないことがあります。

保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（０６）
特別勘定の月次運用レポート（2016年2月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2016年2月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、TOPIX（東証株価指数）が前月末比△9．37%下落の1，297．85ポイントで終了しました。
月前半は、日銀によるマイナス金利政策の導入決定が好感されたことなどを背景に上昇した後、急速な円高に加え、10年国債利回りがマイナスとなり運用環境の悪化懸念などを受けて金融株が売られたことなどから、大幅に下落しました。月後半は、円高進行の一服や原油先物価格の反発などから、株価は幾分持ち直す展開となりました。
業種別（東証33業種）では、月間で上昇した業種はなく、原油市況の悪化などの影響を受け「鉱業」（同△21．78%）が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、月前半、原油相場の反発などで上昇する場面もありましたが、FRB（米連邦準備制度理事会）議長の議会証言で米国の先行きの景気減速が懸念されたことなどから下落しました。月後半は、原油先物価格の上昇などで市場心理が好転し、またエネルギーや素材関連銘柄が買われたことなどから上昇しました。NYダウは、前月末比＋0．3%上昇の16，516．50ドルで終了しました。
欧州株式市場は、月前半、独大手銀行の利払い懸念などから下落が続きましたが、同銀行が債券の買戻し計画を発表したことなどを受けて上昇しました。月後半は、ECB（欧州中央銀行）のドラギ総裁が3月にも追加金融緩和を行う可能性を改めて示唆したことなどから、上昇しました。月を通して見ると、市場別騰落率は、英FT100が前月末比＋0．22%上昇、仏CAC40が同△1．44%下落、独DAXが同△3．09%下落となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、月前半、日銀がマイナス金利の導入を決定したことや大幅な円高・株安の進行などを受け、金利は低下（価格は上昇）し、一時マイナス圏に低下した後、利益確定目的の売りが強まったことなどから上昇（価格は下落）しました。月後半は、プラスの利回りを求めて超長期国債を買う動きが加速したことなどから、20～40年国債利回りは過去最低水準を更新し、10年国債利回りも再びマイナス圏に突入しました。新発10年国債利回りは、月末は△0．065%となりました（前月末は0．095%）。
日銀が前月末に「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入を決定したことに伴い、2月16日より日銀は一部当座預金にマイナス金利を適用したことを受けて無担保コール翌日物金利は水準を切り下げ、概ね△0．02～0．1%近辺で推移しました。

【外国債券市場】

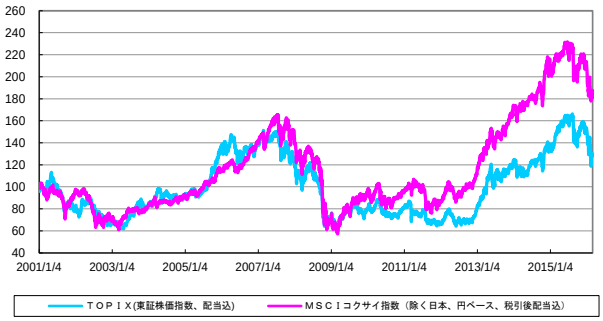
米国債券市場は、月前半、原油先物価格や米国株式の下落などを受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことやFRB議長の議会証言での先行きの利上げペースが緩やかとの見方などを受けて、金利は低下（価格は上昇）しました。月後半は、米国株式の上昇などで売りが先行し、上昇（価格は下落）した後、原油先物価格の反発などを背景に、リスク回避姿勢が和ぎましたが、ほぼ横ばいの動きとなりました。米10年国債利回りは、月末は1．735%となりました（前月末は1．921%）。
欧州債券市場は、月前半、追加金融緩和観測の強まりなどを背景に、金利は低下（価格は上昇）しました。月後半は、原油先物価格の反発などを背景に上昇（価格は下落）する場面もありましたが、ECBによる追加金融緩和への期待や英国のEU（欧州連合）離脱を問う国民投票への警戒感が高まったことなどから低下しました。独10年国債利回りは、月末は0．107%となりました（前月末は0．325%）。
FRB（米連邦準備制度理事会）は、FF（フェデラル・ファンド）金利の誘導目標を据え置き、年0．25～0．50%を維持しました。ECB（欧州中央銀行）は政策金利を据え置き、年0．05%を維持しました。

【外国為替市場】

米ドル／円相場は、前月末比7円25銭円高ドル安の1ドル＝113円62銭となりました。月前半、日米株式の下落などでリスク回避の円買いが強まったことや、FRB議長の議会証言での先行きの利上げペースが緩やかとの見方などを受けて、円高が加速しました。月後半は、原油先物価格の上昇などで円安となる一方、米国の利上げ観測が後退する中、円の先高観は強く、一進一退の推移となりました。
ユーロ／円相場は、前月末比8円06銭円高ユーロ安の1ユーロ＝124円11銭となりました。月前半、原油先物価格や欧州株の下落、欧州での信用不安の高まりなどを背景に、揉み合いながら円高が進行しました。月後半は、円安となる場面もありましたが、ECBによる追加金融緩和への期待や英国のEU離脱を巡る不透明感の高まりなどを受けて、市場のリスク回避傾向から円高圧力が継続したこともあり、引き続き円高が進行しました。

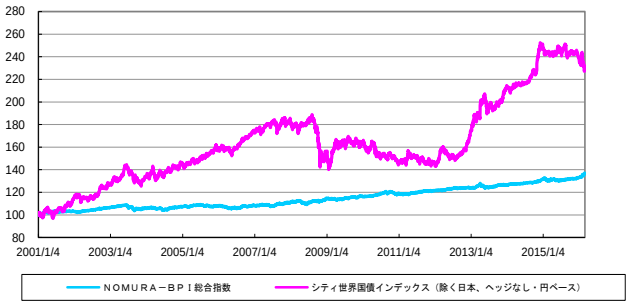
日本と外国の株式市場の推移

＊下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

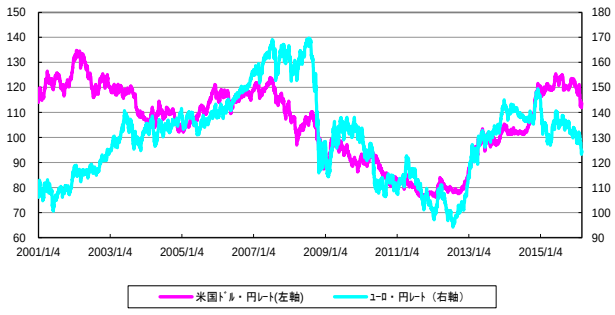


日本と外国の債券市場の推移

＊下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所：株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL：0120-375-193
アクサ生命ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.axa.co.jp/

保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（０６）
特別勘定の月次運用レポート （2016年2月）

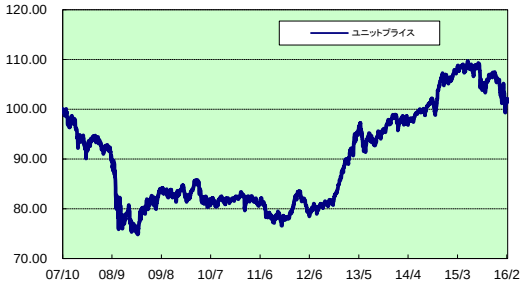
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2016年2月 末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型30AL（503）	● 当ファンドは、 ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券15%、 ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券35%、 ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券15%、 ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券35%* を基本配分比率とし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 ＊ 当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入外貨建資産の35%のうち20%部分について、原則として為替ヘッジを行います。 ● 各受益証券の時価変動などに伴う基本配分比率の変化に関しては、資産ごとに一定の変動幅を設け調整を行います。 ● 当ファンドの主なリスク ・価格変動リスク ・信用リスク ・カントリーリスク ・為替リスク ● 受益証券の配分に代えて、トータル・リターン・スワップ取引を利用する場合があります。（詳しくは、P.4をご覧ください）
利用する投資信託	
ステート・ストリート4資産バランス30VA ＜適格機関投資家限定＞	

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定のユニットプライス		騰落率（%）	
2016年2月末	101.98	過去1ヵ月	▲2.15
2016年1月末	104.22	過去3ヵ月	▲4.74
2015年12月末	105.96	過去6ヵ月	▲3.71
2015年11月末	107.05	過去1年	▲5.41
2015年10月末	106.84	過去3年	13.79
2015年9月末	103.71	設定来	1.98

・世界分散型30AL（503）の特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日（2007年10月9日）を100．00として計算しております。
・騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する今月末のユニットプライスの変動率を表しています。

■特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型30AL（503）	
	金額（千円）	比率（%）
その他有価証券	11,206,121	99.2
現預金・その他	91,551	0.8
合計	11,297,673	100.0

・特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL：0120-375-193
アクサ生命ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.axa.co.jp/

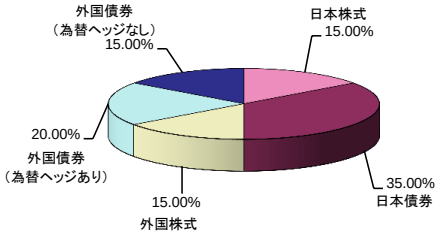
保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（０６）
特別勘定の月次運用レポート（2016年2月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

ステート・ストリート4資産バランス30VA＜適格機関投資家限定＞の運用状況 ［2016年2月末日現在］

■ファンドの特色

【基本配分比率】

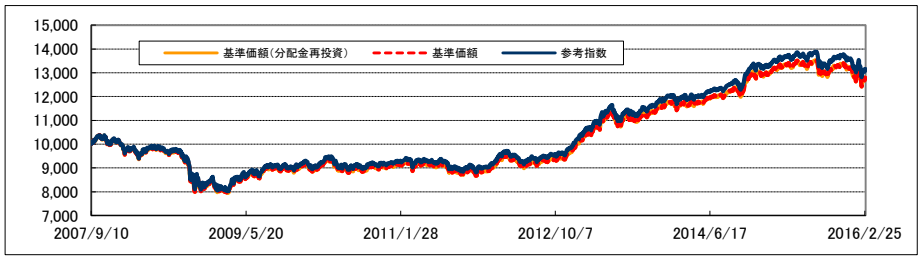


当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行い、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。
当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク（運用成果を判断するうえで基準とする指数）と連動する投資成果を目標とする運用を行います。
ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券：「TOPIX（東証株価指数配当込み）」
ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券：「NOMURA－BPI総合指数」
ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券：「MSCIコクサイ・インデックス（円ベース）」
ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券：「シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）」*
*当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入外貨建資産の35%のうち20%部分について、原則として為替ヘッジを行いますので、当ファンドにおける当該部分のベンチマークは「シティ世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）」となります。

マザーファンド受益証券の配分に代えて、各マザーファンドを基本配分比率で合成した指数（ただし外国債券の為替ヘッジを行う部分については円ヘッジベース）のリターンと短期金利レートの金利を一定の条件のもとに交換するトータル・リターン・スワップ取引を利用する場合があります。

■基準価額の推移

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- グラフは、ステート・ストリート4資産バランス30VA＜適格機関投資家限定＞の設定日（2007年9月10日）を10，000として指数化しています。
- 基準価額および基準価額（分配金再投資）は、信託報酬（純資産総額に対し、年率0．162%（税抜0．15%））控除後の値です。
- 基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
- 参考指数は、TOPIX（東証株価指数配当込み）15%、NOMURA－BPI総合指数35%、MSCIコクサイ・インデックス（円ベース）15%、シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）15%、およびシティ世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）20%で組み合わせた合成指数です。

■概況

	2016年2月29日	前月末	前月末比
基準価額	12,777 円	13,036 円	▲ 259 円
純資産総額（百万円）	11,207	11,598	▲ 392

	基準価額	日付
設定来高値	13,530 円	2015年8月12日
設定来安値	7,954 円	2009年3月10日

■資産構成

金融派生商品を使用する場合、短期金融資産の投資比率が高くなることがあります。

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式	15.00%	5.50%
日本債券	35.00%	14.22%
外国株式	15.00%	5.67%
外国債券（為替ヘッジあり）	20.00%	7.54%
外国債券（為替ヘッジなし）	15.00%	5.76%
短期金融資産	0.00%	61.32%
合計	100.00%	100.00%

- ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率となります。
- 計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
- REITの組み入れがある場合は、REITは株式に含めて表示しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	▲1.99%	▲4.23%	▲2.62%	▲3.24%	22.16%	27.77%
参考指数	▲1.98%	▲4.14%	▲2.43%	▲2.87%	23.27%	31.49%
差	▲0.01%	▲0.09%	▲0.19%	▲0.37%	▲1.11%	▲3.72%

- ファンドの騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

- 下記比率は、純資産総額に対する国別及び通貨別の比率となります（「短期金融資産」を除く）。

■組入上位5カ国

国名	比率
日本	19.71%
アメリカ	9.22%
フランス	1.52%
イギリス	1.45%
イタリア	1.33%

■組入上位5通貨

通貨	比率
円	27.25%
米ドル	5.94%
ユーロ	2.98%
ポンド	0.86%
加ドル	0.31%

- 上記比率は、為替ヘッジ後の比率となります。

- 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL：0120-375-193
アクサ生命ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.axa.co.jp/

保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（０６）
特別勘定の月次運用レポート（2016年2月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

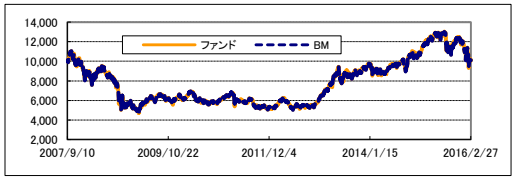
各マザーファンドの運用状況 [2016年2月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド

※ ベンチマーク (BM)：TOPIX（東証株価指数配当込み）
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額： 94,890 百万円



・2007年9月10日を10，000として指数化しています。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	▲9.37%	▲17.75%	▲14.77%	▲13.18%	41.20%	1.11%
ベンチマーク	▲9.34%	▲17.70%	▲14.76%	▲13.17%	41.04%	0.87%
差	▲0.03%	▲0.05%	▲0.01%	▲0.00%	0.16%	0.24%

・設定以来の騰落率は、2007年9月10日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄　組入銘柄数：1,933 銘柄

	銘柄	業種	ファンド	BM
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.82%	3.82%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.01%	2.01%
3	日本電信電話	情報・通信業	1.91%	1.91%
4	ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.62%	1.62%
5	日本たばこ産業	食料品	1.55%	1.55%
6	KDDI	情報・通信業	1.50%	1.50%
7	本田技研工業	輸送用機器	1.35%	1.35%
8	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.30%	1.30%
9	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.20%	1.20%
10	武田薬品工業	医薬品	1.17%	1.17%
合計			17.45%	17.45%

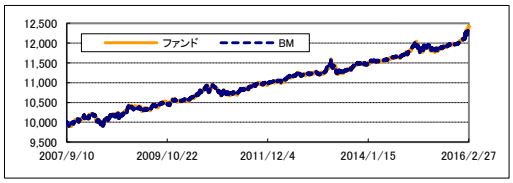
組入上位10業種

	業種	ファンド	BM	差
1	電気機器	11.37%	11.37%	▲0.00%
2	輸送用機器	9.85%	9.85%	▲0.00%
3	情報・通信業	8.36%	8.36%	0.00%
4	銀行業	7.36%	7.36%	▲0.00%
5	化学	6.00%	6.00%	▲0.00%
6	医薬品	5.84%	5.83%	0.00%
7	食料品	5.12%	5.12%	0.01%
8	陸運業	4.86%	4.86%	0.00%
9	小売業	4.86%	4.86%	0.00%
10	機械	4.54%	4.54%	▲0.00%
合計		68.16%	68.15%	0.01%

ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド

※ ベンチマーク (BM)：NOMURA－BPI総合指数
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額： 141,277 百万円



・2007年9月10日を10，000として指数化しています。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.72%	3.63%	4.31%	4.67%	9.53%	24.17%
ベンチマーク	1.69%	3.62%	4.29%	4.63%	9.46%	24.18%
差	0.04%	0.01%	0.02%	0.04%	0.07%	▲0.01%

・設定以来の騰落率は、2007年9月10日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄　組入銘柄数：615 銘柄

	銘柄	クーポン	償還日	ファンド	BM
1	第340回利付国債	0.400%	2025年9月20日	1.26%	0.88%
2	第298回利付国債	1.300%	2018年12月20日	1.18%	0.47%
3	第297回利付国債	1.400%	2018年12月20日	0.89%	0.28%
4	第339回利付国債	0.400%	2025年6月20日	0.85%	0.89%
5	第304回利付国債	1.300%	2019年9月20日	0.83%	0.31%
6	第335回利付国債	0.500%	2024年9月20日	0.82%	0.79%
7	第295回利付国債	1.500%	2018年6月20日	0.81%	0.29%
8	第111回利付国債	0.400%	2018年3月20日	0.79%	0.33%
9	第313回利付国債	1.300%	2021年3月20日	0.77%	0.58%
10	第305回利付国債	1.300%	2019年12月20日	0.75%	0.84%
合計				8.96%	5.64%

・「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

債券種別資産構成比率

	ファンド	BM	差
国債	77.65%	81.59%	▲3.93%
地方債	5.97%	5.78%	0.19%
政府保証債	3.73%	3.26%	0.47%
金融債	0.86%	0.83%	0.02%
事業債	7.74%	6.75%	0.99%
円建外債	0.65%	0.51%	0.14%
MBS債	1.50%	1.27%	0.23%
コール・その他	1.90%	0.00%	1.90%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

・資産担保証券（ABS）は事業債に含まれています。

利回り・残存年限

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	0.07%	0.06%	0.01%
平均クーポン	1.38%	1.17%	0.20%
平均残存期間	9.28	9.23	0.05
修正デュレーション	8.64	8.63	0.02

・「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。
・「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
・2013年11月より、BMの数値はポートフォリオの属性分析を行っている大和Poetにより、委託会社が計算して掲載しております。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL：0120-375-193
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/

保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（０６）
特別勘定の月次運用レポート（2016年2月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

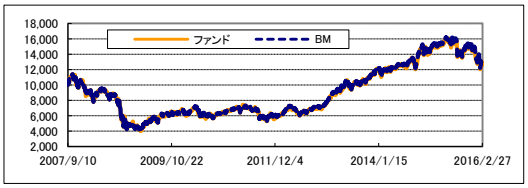
各マザーファンドの運用状況 [2016年2月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド

※ ベンチマーク (BM) ：MSCIコクサイ・インデックス（円ベース）
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 129,990 百万円



・2007年9月10日を10，000として指数化しています。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	▲4.10%	▲14.66%	▲10.80%	▲14.53%	47.02%	29.57%
ベンチマーク	▲4.10%	▲14.64%	▲10.77%	▲14.45%	47.49%	31.03%
差	0.00%	▲0.02%	▲0.03%	▲0.07%	▲0.47%	▲1.46%

・設定以来の騰落率は、2007年9月10日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄　組入銘柄数: 1,335 銘柄

	銘柄	国名	業種	ファンド	BM
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.85%	2.01%
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.33%	1.42%
3	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.17%	1.24%
4	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.00%	1.06%
5	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.95%	1.01%
6	FACEBOOK INC-A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.84%	0.84%
7	WELLS FARGO COMPANY	アメリカ	銀行	0.80%	0.85%
8	AT & T INC	アメリカ	電気通信サービス	0.78%	0.83%
9	NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.77%	0.82%
10	AMAZON COM INC	アメリカ	小売	0.76%	0.80%
合計				10.25%	10.87%

組入上位10業種

	業種	ファンド	BM
1	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9.43%	10.02%
2	ソフトウェア・サービス	8.22%	8.71%
3	銀行	7.83%	8.32%
4	資本財	6.84%	7.21%
5	エネルギー	6.35%	6.76%
6	食品・飲料・タバコ	6.27%	6.68%
7	素材	4.16%	4.39%
8	保険	3.96%	4.23%
9	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.80%	4.09%
10	小売	3.77%	4.03%
合計		60.63%	64.45%

組入上位10カ国

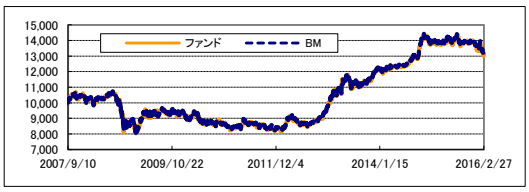
	国名	ファンド	BM
1	アメリカ	61.23%	65.14%
2	イギリス	7.51%	7.92%
3	フランス	3.83%	4.05%
4	スイス	3.59%	3.82%
5	カナダ	3.41%	3.59%
6	ドイツ	3.41%	3.63%
7	オーストラリア	2.61%	2.75%
8	香港	1.26%	1.27%
9	スペイン	1.18%	1.25%
10	オランダ	1.17%	1.23%
合計		89.20%	94.66%

・ベンチマーク (BM)の比率は2016年2月28日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場仲値で円換算したものです。

ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド

※ ベンチマーク (BM) ：シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 161,316 百万円



・2007年9月10日を10，000として指数化しています。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	▲5.13%	▲5.01%	▲5.28%	▲5.47%	24.85%	31.59%
ベンチマーク	▲5.15%	▲4.99%	▲5.26%	▲5.42%	24.99%	32.12%
差	0.03%	▲0.02%	▲0.03%	▲0.05%	▲0.14%	▲0.53%

・設定以来の騰落率は、2007年9月10日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄　組入銘柄数: 439 銘柄

	銘柄	通貨	クーポン	償還日	ファンド	BM
1	アメリカ国債	米ドル	2.000%	2022年2月15日	0.95%	0.20%
2	アメリカ国債	米ドル	1.375%	2020年1月31日	0.92%	0.15%
3	アメリカ国債	米ドル	2.250%	2024年11月15日	0.89%	0.45%
4	アメリカ国債	米ドル	2.000%	2025年2月15日	0.86%	0.44%
5	アメリカ国債	米ドル	2.000%	2020年9月30日	0.73%	0.14%
6	アメリカ国債	米ドル	1.875%	2017年9月30日	0.71%	0.15%
7	アメリカ国債	米ドル	3.625%	2021年2月15日	0.71%	0.33%
8	アメリカ国債	米ドル	8.000%	2021年11月15日	0.70%	0.08%
9	アメリカ国債	米ドル	1.750%	2022年5月15日	0.68%	0.17%
10	アメリカ国債	米ドル	3.625%	2020年2月15日	0.68%	0.31%
合計					7.84%	2.41%

組入上位10カ国

	国名	ファンド	BM
1	アメリカ	43.28%	43.24%
2	フランス	9.83%	9.87%
3	イタリア	9.67%	9.69%
4	イギリス	7.72%	7.73%
5	ドイツ	7.48%	7.50%
6	スペイン	5.47%	5.51%
7	ベルギー	2.63%	2.64%
8	オランダ	2.41%	2.46%
9	カナダ	2.04%	2.07%
10	オーストラリア	1.78%	1.81%
合計		92.32%	92.54%

利回り・残存年限

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	1.07%	1.06%	0.01%
平均クーポン	3.41%	2.78%	0.63%
平均残存期間	8.13	8.03	0.10
修正デュレーション	6.86	6.86	0.01

・「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。
・ベンチマーク (BM)の比率は2016年2月28日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場仲値で円換算したものです。
・「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。
・「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
・上記の属性は2016年2月28日時点のものです。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL:0120-375-193
アクサ生命ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.axa.co.jp/

保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（０６）のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】
この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動（増減）するしくみの変額個人年金保険です。
特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行なっており、株式および公社債の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払いもどし金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。

【諸費用について】
ご契約者等にご負担いただくこの保険の費用は、次のとおりです。

〈積立期間中および保証金額付特別勘定年金（定期）支払期間中にかかる費用〉

項目		費用	ご負担いただく時期
契約初期費用	ご契約の締結等に必要な費用	一時払保険料に対して ５．０％	特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。
保険契約管理費	支払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要な費用	特別勘定の積立金額に対して 年率２．３％	毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費	特別勘定の運用等に必要な費用	投資信託の純資産額に対して 年率０．１６２％程度 （税抜０．１５％程度）＊	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

＊ 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。
＊ 運用関係費は、運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

〈年金の種類の変更またはすえ置期間付年金への移行により10年保証期間付終身年金または確定年金を選択した場合の年金支払期間中にかかる費用〉

＊「年金払特約（06）」による年金の支払を行なう場合も同様です。

項目		費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用	年金額に対して １．０％	年金支払日に責任準備金から控除します。

＊ 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

この商品にかかわる費用の合計額は「契約初期費用」、「保険契約管理費」、「運用関係費」の合計額となります。
年金の種類の変更またはすえ置期間付年金への移行等をご選択の場合、他に「年金管理費」がかかります。

【その他の留意事項について】
■受取総額保証金額（定期型）
受取総額保証金額の最低保証は、据置期間（5年～17年）と特別勘定年金受取期間（3年～15年）の合計期間が20年である場合に限られます。積立期間中にご契約を解約される場合、もしくは年金受取期間中に積立金額を一括でお受け取りいただく場合には、お受け取りになる金額が一時払保険料を下回る場合があります。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL：0120-375-193
アクサ生命ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.axa.co.jp/